



漢字のパーツ

できることの具体例

- ① 漢字が、別の漢字のパーツになることがあるということを知る。
- ② 既習の漢字をパーツの視点でまとめることができる。

- I 既習の漢字「時」「語」「買」「男」「間」を構成要素に分解します。
本を見ないで、板書をしたりフラッシュカードを使ったりしてもいいでしょう。

[教室でのやり取り例]

T：この漢字は何ですか。勉強しましたね。

L：「日本語」の「語」です。

T：この漢字はどこで切りますか。パーツはいくつありますか。

次に、構成要素に注目し、どんな意味が聞きます。知っている学習者に紹介してもらおうといいでしょう。

[教室でのやり取り例]

T：〈「言」を指しながら〉このパーツは何ですか。意味は？ 誰か、わかりますか。

L：言います。話します。

- II いろいろな構成要素の中から、この課の提出漢字に焦点を当てた問題です。
この「寺」「言」「田」「力」「貝」「門」はそれぞれ、1つの漢字でもあることを示します。

- III 構成要素の視点で漢字を整理します。カードゲームにしてもおもしろいでしょう。

例) □：語、何、京、名、週、話

*原則、「円」「年」「所」のようなものは含みません。

木：本、校、東、休

儿：先、見

発展) カタカナを含む漢字 (既習)：学、野、曜……

書きマス目ページ

◎覚え方のヒントと留意点

66「寺」

「時」が第3課で提出されています。同じパーツがあるため、この漢字も「ジ」と読むことを確認します。構成要素には、音を表すものがあることを確認します。そして、お寺の名前のときは「〇〇寺」と「ジ」と読むことが多いことを確認します。

67「言」

下記のようなイメージを紹介するといいでしょよう。

例) 口から言葉が出ている様子。



「語」だけでなく、言偏を持つ既習漢字にはどんなものがあるか学習者から出してもらおうといいでしょよう。

例) 読、話

68「貝」

右のようなイメージを紹介するといいでしょよう。



69「田」

右のようなイメージを紹介するといいでしょよう。

「たなか」「やまだ」のように語中の位置で読み方が変わることには注意します。



70「力」

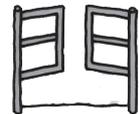
「力」を持つ漢字にはどんなものがあるか、どうして「男」に「力」があるか考えてもらおうといいでしょよう。

71「門」

右のようなイメージを紹介するといいでしょよう。

「門」は意符でもあり、音符でもありますが、ここでは意符としての扱いに留めます。

(「問」が未習のため)



ポイント

- ①…字形の問題
- ②…字形が似ている漢字の問題